

(仮称) 伏古本町・札苗地区再編小学校 新築に係る説明会 議事概要

○日 時：令和7年1月20日（火）18時30分～20時15分

○場 所：札幌市立伏古小学校 体育館

○出席者：地域住民、保護者等（児童・未就学児含む）	～29名
伏古小学校	～1名
東苗穂小学校	～2名
札幌市教育委員会総務部学校施設課	～10名
札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課	～2名
札幌市都市局建築部建築工事課	～2名
札幌市都市局建築部電気設備課	～2名
札幌市都市局建築部機械設備課	～1名
新築基本設計委託事務所	～4名

1 開会あいさつ

～札幌市教育委員会学校配置マネジメント担当課長

伏古小学校と東苗穂小学校を対象に、学校の小規模化を踏まえ、令和5年度から、保護者・地域の代表の方、学校関係者からなる学校配置検討委員会を設置し、1年半にわたりご検討をいただいた。その結果、両校を再編し、伏古小学校敷地に再編小学校を建設という取組案をご了承いただき、今年度から基本設計に着手した。

今回ご覧いただく基本設計の案も、保護者や地域の代表の方などにお集まりいただき、様々なご意見をいただきながら作業を進めてきた。

本日は忌憚のないご意見を頂戴し、よりよい学校づくり向かってまいりたい。

2 児童会館の併設について【資料なし】

～札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課
整備事業推進担当係長

札幌市では、平成26年度に策定した「札幌市市有建築物の配置基本方針」の考え方方に基づき、児童会館については、小学校の改築等に併せて、児童会館の複合化を行うこととしている。

この考え方方に基づき、今回、小学校の再編に伴い、「伏古児童会館・東苗穂児童会館」を集約し新築する小学校校舎への複合化（新型児童会館化）を予定している。

小学校に併設することで、学校に通う子どもたちにとって、放課後に学校の敷地を出ることなく、直接児童会館に遊びに行けるようになりため、より安心して利用できる施設になるという利点があるものと考えている。

新たな児童会館は、小学校との複合施設として、これまで以上に連携・協力させていただき、学校諸室の相互利用などにより、活動の幅が広がるような取組・運営について検討を行い、より一層、地域に親しまれ、利用していただける施設にしてまいりたいと考えている。

なお、小学校への複合化後、現在の児童会館につきましては、市役所内部での公共利用希望について照会を行ったうえで、取り扱いを検討する。

本市の原則的な考え方では、公共利用希望がない場合、基本的に建物は解体し、解体後の土地は売却となる見込みであるため、ご理解のほどよろしくお願ひしたい。

3 新築計画案について【映像資料】

～札幌市教育委員会総務部学校施設課施設整備係

(1) 基本方針・設計の考え方

「多様で柔軟な学習空間」、「健やかな学習・生活環境」、「地域との円滑な連携」、「環境への配慮」の4点を目標とするほか、令和6年10月に札幌市教育委員会へ提出された「『東苗穂小学校と伏古小学校を中心とした学校施設・地域コミュニティ施設の再構築』に関する意見書」における施設整備に関わる意見を反映させた施設整備を計画している旨説明。

(2) 配置計画案について

配置図に基づき、新築する施設やグラウンドの配置について説明。

(3) 平面計画案について

平面図に基づき、各階の平面計画案について説明。

(4) 事業スケジュールについて

新築事業全体のスケジュールについて、令和7年～令和9年中頃まで基本・実施設計、令和10年度中頃より新校舎建築工事着手の想定である旨説明。

4 質疑応答

(1) 主な意見・質疑応答

質 疑	回 答
プール解体後新たな整備を行わないことは納得できない。 児童会館を複合化するために、プールを無くしたのか。	学校のプールは使用期間が短期にも関わらず先生方の管理負担が大きく、かつ老朽化が進行。プール授業をなくすわけではなく、近隣の民間・公営プールの協力のもと、専門的な指導をいただく形での移行を進めている。
新しい学校の名称に「伏古」を入れてほしい。災害時には、分かりやすい地域名が入っているほうが良い。	校名は今後立ち上げる専門の協議体の中で検討していく。 東苗穂小学校地域から通うことになる子どもたちにも配慮した検討を行うことが重要と考えている。
1階の窓を網入板ガラスにして侵入者への防犯対策した方がよい。	具体的な防犯対策については、次年度以降の実施設計の中で検討していく。
グラウンドを使えない期間が長い。その期間、運動会や体育の授業はどうなるか。	これまでの他校における建て替え時には、近隣の学校や大きな公園を活用している。具体的には今後検討することになるが、東苗穂小学校のグラウンドを活用するなどの方法が考えられる。
学校再編により通学区域が広くなると思うが、スクールバスの導入は検討しているか。	札幌市では小学校における徒歩による通学距離の目安を2kmとしている。 再編後の通学区域では、最も遠い地点から現在の伏古小学校まで約1.5kmとなっているため、スクールバスの導入は考えていない。

<p>両校の特色を踏まえた新学校とあるが、個人的には公立学校は特色出しそぎず、市全体で一律の教育提供してもらった方が良い。</p>	<p>公教育として求められる教育の提供を前提として、両校のこれまでの歴史を踏まえつつ、新しい学校を創るという前向きな思いで再編校の開校に向けた準備を進めていきたい。</p>
<p>中庭は景観を保つために設置したのか。もしくは、授業で活用したり、児童の憩いの場として使うために設置したのか。</p>	<p>建築基準法において、居室の採光を確保することが必要とされており、校舎1階の建物内部に配置している居室への自然光確保のために配置している。中庭の具体的な活用については、今後、学校とも相談し検討していく。</p>
<p>工事によりグラウンドを使用できない期間、休み時間など日常的に外へ出て体を動かすことができないことに懸念がある。</p>	<p>運動会などの学校行事に限らず、グラウンドの使用に制限がある期間の日常の子どもの活動についても、今後、これまでの他校における建て替え時の事例なども踏まえ、学校において検討していく。</p>
<p>新校舎でも現在と同様にフェンスで囲われることになるのか。</p>	<p>グラウンドについては、高尺フェンスで囲う想定。その他の場所については、検討中ではあるが、敷地境界に植樹台や生垣を配置する方針である。</p>
<p>新築工事および解体工事に伴い、多数の工事車両の出入りが予想されるため、交通事故防止に十分配慮願いたい。また、工事車両が周辺住民の車の出入りを妨げることがないようにし、早朝・夜遅くまでの工事による騒音を控えてほしい。さらに、解体時の粉塵の飛散防止対策を徹底してほしい。</p>	<p>工事の際には配慮したい。</p>
<p>厳重なフェンスを設置するなど防犯対策をしすぎることで閉鎖的な空間となるよりは、防犯カメラでの対策など、オープンな空間が良い。</p>	<p>防犯カメラは昇降口付近に設置する予定。その他の場所への設置については、学校ごとの事情によるため、今後検討していく。</p>
<p>現在の伏古児童会館は、「札幌東苗穂共栄土地区画整理組合」が「地域の子どもたちのために」と無償提供した土地に建設された。建築や備品購入に関わる費用も当時の関係者が寄付した経緯がある。しっかりした建物なので、まだ利用できると思う。現場を見てほしい。</p> <p>新校舎へ児童会館が複合化されることで用途廃止された後も建物を残し、子どもたちのために活用してほしい。</p>	<p>建物は丈夫に作られているが、築45年で老朽化は避けられず、今後も長く公共利用することは難しいと考える。土地の跡活用について、現時点で新たな公共施設の整備予定はないが、今後、閉館時期が明確となった段階で、より具体的に札幌市役所における公共利用計画の調査を行う予定。</p> <p>なお、これまでの経緯からも非常に心苦しいところではあるが、過去の事例から、地域の市民集会施設として利用希望がある場合には、自主運営を条件に、建物は有償譲渡、土地を有償貸付することとなる見込み。</p>

<p>児童会館敷地内にある「共栄土地区画整理事業完成の碑」や銘鉢やレリーフは、元々設置予定だった隣接のモーモー公園に移設してほしい。</p>	<p>石碑やレリーフの移設については、閉館時期がより明確となり次第、設置物の状況調査実施の検討を行うなど今後の取り扱いについて継続して検討予定。</p>
<p>意見</p>	
<p>よく考えられた案だと思う。保護者としても児童会館が学校に複合化されることで安心できる。</p>	<p>教員の見守りの負担を軽減するためには、入口を少なくした方が良い。</p>
<p>通学路の除雪は優先して入ると思うが、降ったらもとに戻るので、ロードヒーティングを導入してはどうか。</p>	<p>複数の駐車場があるので、子どもの通り道が分かるような工夫が必要ではないか。</p>
<p>学校敷地内に空地を整備し、既存の歩道と一緒に活用できる案は良いが、結局雪が積もったり、路上駐車が増えないか心配。路上駐車を完全に防止することは難しいと思うが、警察にパトロールをお願いしたり、注意喚起の看板を設置するなど、何らかの対策が必要に思う。</p>	

(2) 今後の流れなど

今後も地域の皆様のご意見等を参考にしながら、設計を進めていきたいと考えていることから、ご意見等がある場合は、札幌市教育委員会総務部学校施設課あてに令和8年2月23日（月）までに書面にてご提出いただくよう説明。

また、本日参加できなかった地域の皆様に向け、伏古本町まちづくりセンター、札苗まちづくりセンター、札幌市のホームページにて、今回の資料や議事概要を閲覧できるようにする旨説明。

5 閉会あいさつ

～（仮称）伏古本町・札苗地区再編小学校新築検討委員会委員会
伏古小学校長

伏古本町・札苗地区における再編の取組は、令和5年2月2日の第1回伏古本町・札苗地区学校配置検討委員会を皮切りに検討を進めてきた。

令和6年10月10日に、学校配置検討委員会から教育委員会に意見書が提出されたことを受け、設計の検討を進めてきたが、この1年間、東苗穂小学校の金田校長とともに、より児童や教職員にとってより良い環境となるよう意見を述べてきた。

設計に携わったことで、子どもたちのためになる工夫が多くなされていることが分かった。

伏古小学校と東苗穂小学校が相互理解を深めるための機会を今後どのように増やしていくかについて、金田校長と現在協議を進めているところである。

再編に向けては課題もあるが、最も重要なのは、子どもたちの元気な声が響き、豊かな教育環境を実現することである。この点が設計に反映されるよう、今後ともよろしくお願いしたい。

以上